

LCMSsolution Windows2000 インストールガイド

1. はじめに

本説明書では、LCMSsolution を Windows 2000上で動作させるためのインストール手順と、その他留意点について解説しています。

Windows2000 上での LCMSsolution の動作には、LCMSsolution Ver2.01 以降が必要です。お手持ちのインストーラが、LCMSsolution Ver2.01 以降のインストールディスク、もしくは アップデートディスクかどうかをご確認ください。

また、別に島津 Windows2000 用装置ドライバインストールディスクも必要です。LCMSsolution Ver2.01 以降のインストール CD-ROM にはこの装置ドライバインストールディスクが入っていますが、アップデートディスクをお使いの場合は、別途装置ドライバインストールディスクが必要になります。

アップデートディスク、Windows2000 用装置ドライバインストールディスクは、次の島津の WEB ページからダウンロードできます。

http://www.an.shimadzu.co.jp/support/download/lcms_s/lcmsdl.htm

LCMSsolution の動作には、次の PC と OS が必要になりますので併せてご確認ください。

OS : Windows2000 & Service Pack 1以降

CPU : Pentium 333MHz 以上

メモリ: 128Mbyte 以上

ハードディスク: 3Gbyte 以上 (一般的な分析条件でデータ採取を行う場合の目安です)

拡張スロット: PCI*1 以上

<重要>

LCMSsolution のインストールと操作には、Windows 2000上での標準ユーザー (Power Users グループ)権限が必要です。標準ユーザー権限を持ったユーザで Windows2000 にログインしてください。

手順の概略は以下のようになります。

LCMSsolution のインストール (DAO のインストール*1)

MS や PDA と PC を SCSI ケーブルで接続しない状態で行ってください。

LCMSsolution Ver2.01 アップデートディスクのインストール (お手持ちのインストールディスクが Ver2.00 の場合)

MS や PDA と PC を SCSI ケーブルで接続しない状態で行ってください。

MS、PDA と PC を SCSI ケーブルで接続

MS、PDA 用装置ドライバのインストール

- * 1 DAO (Data Access Object)とは本ソフトウェアが使用しているモジュールでマイクロソフトが提供しているソフトウェアです。あらかじめパソコンにインストールされている場合もあります。詳細は「4. ワークステーションソフトウェアのインストール」を参照してください。

2. LCMSsolution のインストール手順

3.1. DAO のインストール

LCMSsolution をインストールするには、あらかじめデータベースアクセスプログラムがセットアップされている必要があります。LCMSsolution のインストール途中で DAO (データベースアクセスプログラム) がインストールされていない旨がメッセージされるときは、始めに DAO をインストールしてから LCMSsolution をインストールしてください。

DAO のインストール手順は、『LCMS ワークステーションソフトウェア取扱説明書』の 9.4.4 データベースアクセスプログラム (DAO) をインストールする」をご参照ください。

3.2. LCMSsolution のインストール

LCMSsolution のインストールは、WindowsNT の場合と同じです。『LCMS ワークステーションソフトウェア取扱説明書』の 9.4.1 初めてインストールする場合には」をご参照ください。Ver2.01 アップデートディスクをお使いの場合は、LCMSsolution Ver2.00 のインストール CD-ROM でインストールを行ってください。

3.3. LCMSsolution アップデートディスクのインストール

LCMSsolution Ver2.00 をお使いの場合は、Ver2.01 (もしくはそれ以降)のアップデートディスクを使い、LCMSsolution を Ver2.01 (もしくはそれ以降)にバージョンアップします。アップデートには、LCMSsolution が予めインストールされている必要があります。アップデートディスクだけでは、LCMSsolution は動作しませんのでご注意ください。

ここで、一度 Windows を終了し、PC の電源を切って下さい。MS、SPC-M10Avp、SCL-10Avp の電源が入っている場合は、一旦電源を切り再度投入してください。

3. LCMS-2010, SPD-M10A vp 島津 Windows2000 用装置ドライバのインストール

装置ドライバをインストールする前に、MS、PDA とPC をSCSI ケーブルで接続し、PC の電源を投入してください。

装置ドライバがフロッピー ディスクに入っているときは“A:¥ ”を、CD-ROM に入っている場合は“E:¥WIN2000” (“E”は CD-ROM ドライブの位置によって変わります)を設定してください。

装置をつないで後、はじめてPC を起動すると、装置を自動認識し<新しいハードウェアの検出ウィザード>が起動します。次のページでは、ドライバの検索方法を尋ねてきますので、「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」にチェックを入れてください。



次に、ドライバファイルの検索場所を尋ねてきますので、お手持ちの装置ドライバが格納されている場所にチェックを入れてください。

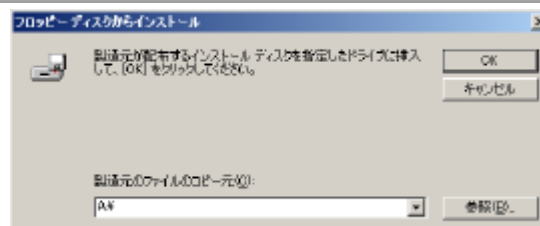
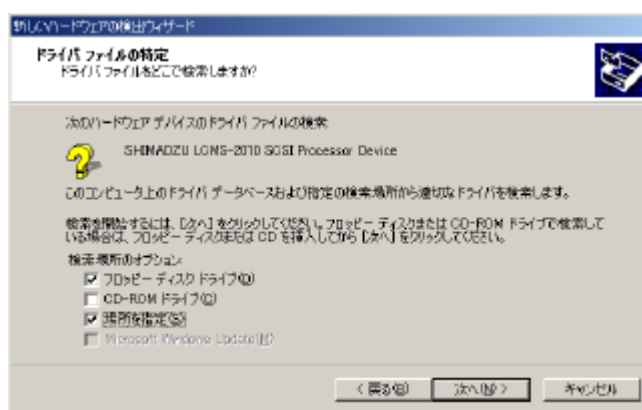
格納場所がフロッピー ディスクの場合は、[フロッピー ディスクドライブ]にチェックを入れてください。

LCMSSolution インストール CD-ROM の場合は、[場所を指定]に

チェックを入れて、開いた<フロッピー ディスクからインストール>画面に

“E:¥WIN2000¥Driver ”

を設定してください。(“E”は CD-ROM ドライブ



の位置によって変わります)

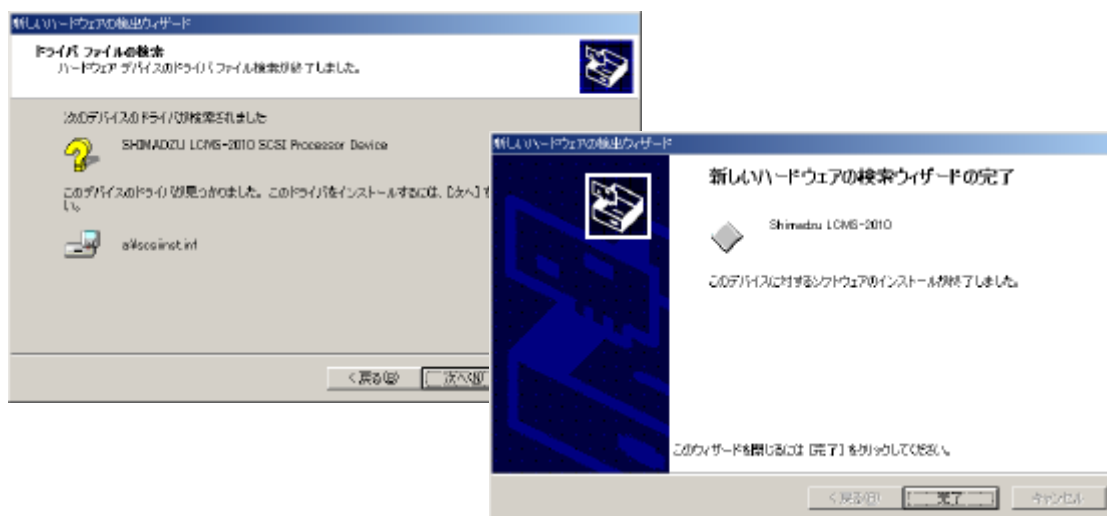
いずれの場合も、[次へ] ボタンを押す前に指定した場所にディスクを挿入してください。

ドライバが見つかった場合は、その結果が表示されます。装置とドライバは次の対応になっています。

LCMS-2010 をお使いの場合： SHIMADZU LCMS-2010 Processor Device

LCMS-QP8000 をお使いの場合： SHIMADZU LCMS-QP8000 Processor Device

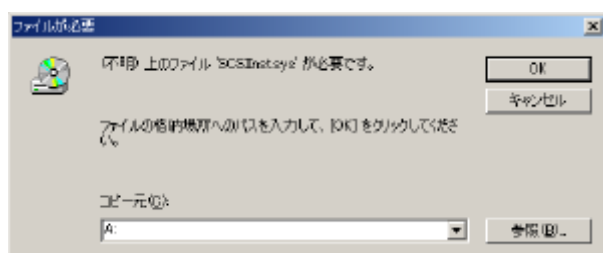
SPA-M10A vpをお使いの場合： SHIMADZU SPD-M10AVP Processor Device



最後に完了のページが出れば、デバイスのインストールが完了します。2つ以上の島津製装置、例えば LCMS-2010 と SPD-M10A vp を繋いでいるときでも、同じドライバが使われますので、2 目以降の装置については自動で設定されます。

途中でウィザードを中止したときは、ドライバは正常にインストールされていません。再度 PC の電源を入れ直して <新しいハードウェアの検出ウィザード> でインストールを行ってください。

ウィザードでインストールに失敗していた場合、PC を再起動すると次の <ファイルが必要> 画面が表示されることがあります。このときは、装置ドライバの格納されている場所を指定してください。ドライバがインストールされます。



以上で、Windows 2000でのインストールは完了です。